

第3章 都市づくりの将来像・目標 ～本市の都市計画の目指す姿～

1. 都市の将来像

本市は、第六次藤井寺市総合計画において「～人と歴史が生きる未来へ～ 笑顔と活気に満ちた快適なまち ふじいでら」を将来像として掲げています。

本計画においても、総合計画で掲げた将来像等に基づき、都市づくりを推進します。

<将来像>

～人と歴史が生きる未来へ～ 笑顔と活気に満ちた
快適なまち ふじいでら

■笑顔

子どもから高齢者まで市民の誰もが心身ともに健やかに暮らし、また子育て、教育、就労、介護などライフステージに応じて、歴史豊かで、落ち着きあるまちとしての安心を実感し、互いの違いを尊重しながら、ともに支え合うことのできる優しさと笑顔あふれるまちを目指します

■活気

古墳群・神社仏閣等の歴史資産といった本市の魅力を最大限に活かして多くの人が訪れるまちとともに、市民がコミュニティやイベントを通じて、新たなビジネスの創出や活発な交流ができるような、にぎわいとわくわく感あふれる大好きなまちを目指します

■快適

大阪都心部からの優れたアクセスや豊富な歴史資産という特徴を活かしつつ、ゼロカーボンで自然に優しい良好な住環境づくりやデジタル技術の活用など、これまで以上に住みたくなる・住み続けたくなるような快適に生活を営むことができる居心地のいいまちを目指します

2. 総合計画との整合と本計画での展開

第六次藤井寺市総合計画においては、施策の方向性を位置付けており、これとの整合を図った上で、都市計画マスタープランにおいて展開を図っていくものとします。

施策の方向性1 世界遺産やふじいでら独自の歴史文化を活かす

葛井寺、道明寺天満宮をはじめとした神社仏閣、世界遺産吉市古墳群などの歴史文化は、私たちのまちが誇る貴重な財産です。

それらの価値の活用・発信を通じ、市民自らが魅力ある地域資源を再発見することで、まちへの愛着心を高め、まちのイメージアップ・知名度アップに取り組みます。

本市を訪れる人々にも、まちなかを楽しみながら周遊してもらう、まちなか観光を促進し、市内の商業地域の活性化や市民の活力を高め、魅力あるまちづくりとまちのにぎわいにつなげます。



<都市計画マスタープランで重視すべきキーワード>

- ・豊かな歴史文化資源やみどりを活かしたまちの魅力づくり

施策の方向性2 市民や事業者等と連携し、良質な住宅都市としてのイメージ形成

都市イメージを向上させるためには、大阪市内への高アクセスだけでなく、歴史的な街並みを持つ、落ち着きのある良質な住宅都市としてのイメージを確立する必要があります。

あわせて、市民一人ひとりのウェルビーイングを高めるための、快適な生活の実現に向けた支援も必要です。

そのためには、市民や事業者等とともに、街並み景観の保全や市民マナーの向上、SDGsの推進、市民同士の支え合いの促進などに取り組みます。



<都市計画マスタープランで重視すべきキーワード>

- ・多様なライフスタイルに対応した良好な住環境づくり
- ・災害に強い安全・安心な都市づくり
- ・市民、事業者、行政による協働・共創

施策の方向性3 未来への投資を通じて、成長を支援

開通予定の八尾富田林線沿道のまちづくりや、地域内での取引・消費の促進、事業者における販路開拓やDX促進による生産性向上に向けた支援などを通じ、まちの活性化と成長につなげます。

また、未来を担う子どもたちへの投資として、GIGAスクール構想に代表されるデジタル技術の活用を含む様々な方法で、教育環境や子育て環境を整備し、生きる力を身に付ける環境づくりに取り組みます。



<都市計画マスタープランで重視すべきキーワード>

- ・子育て世代が魅力的に感じる子育て環境づくり
- ・拠点における都市機能の強化とまちのにぎわいづくり
- ・安全で利便性の高い道路や公共交通のネットワークづくり
- ・都市基盤や公共施設の適切な維持管理と更新

3. 都市づくりの目標と基本方向

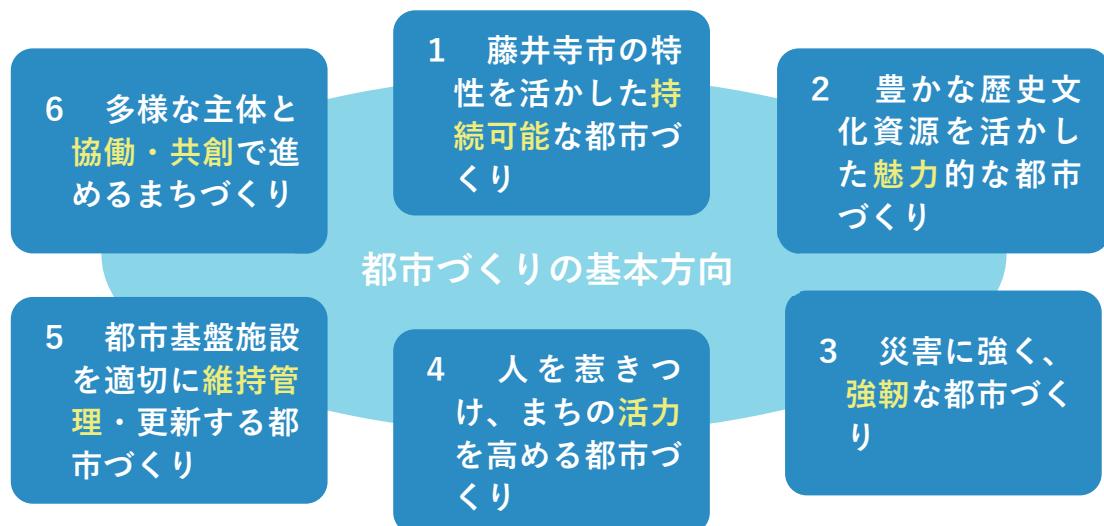
前述の上位計画の位置付けや時代の潮流等を踏まえ、本市の持つポテンシャルを最大限に活用し、未来に向けて都市づくりを展開していくための目標を下記に定めます。

<都市づくりの目標>

魅力がつまつたコンパクトなまち 藤井寺

本市は、市域がコンパクトなことや大阪都心部等への利便性が高いことから、周辺に位置する都市とも機能分担しながら、駅前に商業・医療・公共公益機能などの都市機能の集積を図るとともに、身近な住環境の充実を図ってきました。また、古市古墳群や豊かな文化財を有する神社仏閣やそれらと調和した住宅地の景観や暮らしの文化があり、市民にも高く評価されています。

これらの優れた市の特性を活かしながら、市民がこのまちで暮らすことを誇らしく思うような「魅力がつまつたコンパクトなまち」に向けた都市づくりを展開していくための柱となる6つの都市づくりの基本方向を定めます。



1 藤井寺市の特性を活かした持続可能な都市づくり

- ・鉄道駅を中心として、徒歩や自転車で移動できる範囲に都市機能が集約されたコンパクトな都市拠点の形成を図り、多様なライフスタイルに対応した人に優しく暮らしやすい住環境づくりを進めます。
- ・鉄道・バスの公共交通と幹線道路網による利便性の高い交通ネットワークを構築し、市内外の交流・連携を促す都市づくりや、環境にも優しい都市づくりを進めます。

2 豊かな歴史文化資源を活かした魅力的な都市づくり

- ・永きにわたって蓄積してきた、本市の個性である豊かな歴史文化・みどり・景観を、将来に向けて保全するだけでなく、現在の暮らしや都市活動の中でも積極的に活かしていくことで、都市の価値や魅力を高めていく都市づくりを展開します。

3 災害に強く、強靭な都市づくり

- ・安全・安心に暮らせる都市づくりに向けて、防災機能強化、防犯力の強化に加え、自主防災組織の強化による災害に強い都市づくりを進め、自助、共助、公助の観点から防災、減災及び防犯の体制強化に取り組みます。

4 人を惹きつけ、まちの活力を高める都市づくり

- ・市の地域経済や雇用を支えている商業地や工業地のほか、農地、歴史文化資源等なども含めてまちの活力を生み出す産業基盤、操業環境の創出を図りつつ、まちの活力やにぎわいの向上を図ります。

5 都市基盤施設を適切に維持管理・更新する都市づくり

- ・市民の安全・安心で便利な暮らしを支える都市基盤施設について適切な整備や維持管理、更新、長寿命化を進めるとともに、財政や施設の状況、市民ニーズに応じた施設の再編など、効率的な都市経営を図ります。

6 多様な主体と協働・共創で進めるまちづくり

- ・都市づくりのさまざまな場面において市民の参画の機会を設け、市民・各種団体・事業者との連携や各主体同士が協力し合う協働・共創の視点を大切にしたまちづくりを進めます。

本市の都市づくりの課題と総合計画で定めるまちの将来像と施策の方向性、都市づくりの目標と基本方向、方針、終わりに～実現が期待される暮らしの姿～の関係

